

令和7年度 第1回島田市中小企業・小規模企業振興推進会議 議事要録

1 日 時 令和7年10月1日 午前10時から午前11時30分まで

2 場 所 島田市役所 第2委員会室

3 出席者

委員：今村会長、鈴木（博）委員、戸塚委員、岡田委員、鈴木（肇）委員、曾根委員、岡山委員、大塚委員、道前委員

事務局：鈴木商工課長、富永参事、宮脇係長、大村主査、北川書記

4 資 料

【資料1】島田市中小企業・小規模企業振興基本条例

【資料2-1】令和6年度 本会議の振り返りと事業進捗について

【資料2-2】人を大切に作る経営セミナー アンケート結果

【資料3】令和7年度 島田市商工課における中小・小規模企業支援施策

【資料4】交付金を活用した企業支援施策（令和2年度～令和7年度）

5 内 容

(1) 島田市中小企業・小規模企業振興基本条例の確認

資料1に基づき、島田市中小企業・小規模企業振興基本条例について、事務局から説明を行った。

・質疑応答なし。

(2) 令和6年度の会議の振り返りと事業の進捗について

資料2-1及び資料2-2に基づき、令和6年度の会議の振り返りと事業の進捗について、事務局から報告を行った。

・昨年度実施した保護者向けバスツアーについては今年度も実施するのか。（委員）

→実施したいと考えている。（事務局）

・各事業において、スピード感を持った事業展開をしていかなければ、他市から取り残されてしまう。（委員）

→スピード感を持った対応をしていく。（事務局）

(3) 令和7年度の議論の方向性（令和8年度実施事業）について

資料3及び資料4に基づき、令和7年度の議論の方向性（令和8年度実施事業）について、事務局から説明を行った。

・市において、集客力のある施設整備や、本市の知名度を上げる施策を行っていく必要があるのではないか。（委員）

→本市の地理条件ターゲット等、総合的に考えていく必要がある。（事務局）

・各事業において、スピード感を持った事業展開をしていかなければ、他市から

取り残されてしまう。（委員）

- 本市の知名度を上げるため、市をあげて大祭に取り組むと言っても、市役所内で祭りの雰囲気がない。より人員や予算をかけて体制を整備しなければ知名度は上がらない。（委員）
- 人材不足への対策として、各社D X化等を進めていると思う。これに対する補助等があると良い。
- 十数年前と比べると商店街の活気がなくなった。真剣に対策を考えていかなければ商店街や市がなくなってしまうのではないか。
- 当団体にてInstagram活用セミナーを実施したが、評判が良かった。SNSの活用セミナーについて、内容を吟味していただきたい。
- 本市の知名度に関してブランド力・イメージがない。ブランディングを行うことで知名度も向上するのではないか。
- 近隣市での災害に対して、被災地支援を行ってきた。BCP対策等、企業の防災対策を進めるような施策があると良い。

以上